

**主な出来事**

**【内政】**

- 12月8日、約20兆クワンザ規模の2023年予算案が閣議決定され、国会に提出。
- 12月19日、最高裁判所は、イザベル・ドス・サントス前大統領息女が保有する資産計10億ドルの仮差押命令を発出。

**【外交】**

- 12月6日から10日、ルアンダで第10回アフリカ・カリブ海・太平洋諸国機構(OACPS)首脳会合が開催され、中央アフリカ大統領、セーシェル大統領、ジンバブエ大統領、ケニア副大統領等が出席。
- 12月13日から15日、ロウレンソ大統領はワシントンで開催された米・アフリカ・リーダーズ・サミットに出席し、マージンで米国務長官及び国防長官との会談、大湖地域7か国ハイレベル会合等を実施。

**【経済】**

- 11月末から12月中旬、IMF代表団はアンゴラを訪問し、4条協議を実施。
- 英国拠点 Gemcorp 社はアンゴラ政府より国営アンゴラ・テレコム社の運営、改修、拡張事業を落札。

**内政**

**1. 2023年予算案の閣議決定**

12月8日、2023年予算案が閣議決定され、翌9日国会に提出された。公債関連費を含む歳入・歳出額は約20兆クワンザに設定された。また、分野別支出は社会23.9%、公共サービス12.5%、経済10.1%、国防・安全保障・治安8.6%、公債関連45.1%となった([JA 12/9](#))。

**2. ジャーナリスト組合による抗議運動の実施**

12月17日、ジャーナリスト組合(SJA)は、SJA本部と一部ジャーナリストの自宅におけるパソコン等の盗難被害を受け、抗議運動を実施した。テイシェイラ・カンデイド SJA 代表は、アンゴラの報道の自由を改善するためには、政府・ジャーナリスト間の対話を促進する必要があると述べた([JA 12/18](#))。

**3. イザベル前大統領息女保有資産の差し押さえ**

12月19日、最高裁判所は、イザベル・ドス・サントス前大統領息女が保有する資産計10億ドルの仮差押命令を発出した。同氏保有の預金口座や証券等の金融資産・資金に加え、葡企業 UPSTAR Comunicação 社株70%、モザンビーク企業 MSTAR, SA 社株70%、カーポベルデ企業 UNITEL T+社株100%、サントメ・プリンシペ企業 UNITEL STP, SARL 社株100%、多国籍企業 UNITEL INTERNATIONAL HOLDING BV 社株100%、UNITEL INTERNACIONAL BV 社株100%も押収される([JA 12/27](#))。

**4. 地雷除去院(INAD)の移管**

12月26日、INADの社会行動・家族・女性省から国防・元兵士・退役軍人省への移管式典が開催された

[\(JA 12/29\)](#)。

## 外交

### 1. 丸橋大使(当時)のロウレンソ大統領離任表敬

12月7日、丸橋大使(当時)は離任挨拶のためロウレンソ大統領を表敬した。同大使は約2年間の任期中、両国の関係深化に貢献できたことを嬉しく思うと述べた([JA 12/7](#))。

### 2. 第10回アフリカ・カリブ海・太平洋諸国機構(OACPS)首脳会合の開催

12月6日から10日、ルアンダで第10回OACPS首脳会合が開催され、中央アフリカ大統領、セーシェル大統領、ジンバブエ大統領、ケニア副大統領等が出席した。ロウレンソ大統領は、スピーチにて、アンゴラの議長国就任に際し、気候変動の影響緩和、グッド・ガバナンス、透明性の確保、国内生産の促進を今後3年間のOACPSの主要目標に設定した旨述べた([JA 12/9](#))。

### 3. 大統領の米・アフリカ・リーダーズ・サミット出席

12月13日から15日、ロウレンソ大統領はワシントンで開催された米・アフリカ・リーダーズ・サミットに出席した。

同大統領は、14日のビジネス・フォーラム第2パネルに出席した他、マージンで、プリンケン米務長官及びオースティン米国防長官との会談、大湖地域7か国ハイレベル会合の主催、米国輸出入銀行年次総会やバイデン大統領主催晩餐会への出席、国会議事堂視察等を行った([JA 12/15](#) 12/14 ① ②) ([AP 12/14](#))。

### 4. 大統領のガボン訪問

12月22日、ロウレンソ大統領はボンゴ・オンディンバノガボン大統領の招待を受け同国を訪問した。大統領のガボン訪問中、両国は外交・公用旅券の査証免除協定及び政治協議に関する協定への署名を行った。また、両国政府は来年3月までにアンゴラ・ガボン合同委員会を実施する旨を決定した([JA 12/23](#))。

## 5. サントメ・プリンシペ首相のアンゴラ訪問

12月23日、ロウレンソ大統領はアンゴラを訪問中のトロヴォアダノサントメ・プリンシペ首相の表敬を受けた。同首相は、表敬後、サントメ・プリンシペの経済・社会開発に向けアンゴラからの支援の約束を取り付けた旨述べた([JA 12/24](#))。

## 経済

### 1. 第1回「Made in Angola」博覧会の開催

12月7日から11日、ルアンダ州郊外に位置する経済特区(ZEE)にて第1回「Made in Angola」博覧会が開催され約120社が出展した。カエターノ経済企画大臣は本博覧会につき、中小零細企業を中心とし生産部門の活性化を目指す重要なイベントであり、経済多角化の一環で行われたと述べた([JA 12/8](#))。

### 2. IMFの対アンゴラ4条協議の実施

11月末から12月中旬、IMF代表団はアンゴラを訪問し、4条協議を行った(注:IMF協定第4条に基づきIMFが加盟国を定期的に訪問し、経済・金融関連の協議を行うもの)。12月15日には、政府・中銀(BNA)・IMF間で会合を実施し、燃料補助金に関する意見交換を行った([JA 12/16](#))。

### 3. Gemcorp社によるアンゴラ・テレコム社事業落札

英国拠点Gemcorp社はアンゴラ政府より国営アンゴラ・テレコム社の運営、改修、拡張事業を落札した。契約額は約1億8,900万ドル。今般の落札により、同社はアンゴラ政府のパートナー企業として15年間アンゴラ・テレコム社の運営を行う([DCD 12/21](#))。

### 4. Somoil社による権益取得

アンゴラ最大の民間石油企業Somoil社は、開発段階にある17/06鉱区のタイ企業PTT Exploration and Production(PTTEP)保有権益2.5%を取得した。これにより、同社の17/06鉱区での権益保有率は12.5%となる。([JA 12/30](#))。

---

\*\*\*\* AA: All Africa、 AC: アンゴラ華人報、 AfN: Africa News、 AN:Ango Notícias、 AO: Angola Online、 A024:Angola 24 horas、 AP: Angop、 BB: Bloomberg、 CK: Club-K、 CRK: Correio Kianda、 DN: Diario de Noticias、 DV: Dinheiro Vivo、 DW: Deutsche Welle、 EG: E-Global、 EIU: Economist Intelligence Unit、 EN: Euro News、 EX: Expansão、 EXP: Expresso、 FT: Financial Times、 FAL: Forbes Africa Lusofona、 FM: Forum Macao、 GOV: Government' s Official Portal、 JA: Jornal de Angola、 JE : Jornal Economico、 JN: Jornal de Negocios、 LS: Lusa、 ME: Mercado、 MH:Macau Hub、 MR: Mining Review、 MW: Mining Weekly、 NAM: Noticias ao Minuto、 NJ: Novo Jornal、 OBS: Observador、 OP: O País、 PA: Portal de Angola、 PB: Publico、 RE: Reuters、 RFI: Radio France Internationale、 RTP : Rádio e Televisão de Portugal、 TPA: Televisão Pública de Angola、 VA: Ver Angola、 VE: Valor Económico、 VG: Vanguarda、 VI: Visão、 VOA: Voice of America、 WB: World Bank、 WSJ: Wall Street Journal、 XN: Xinhua Net